

魅力ある地域づくりに関する特別委員会 議事次第

令和7年12月15日(月)
午後1時30分～
於：第7委員会室

1 開 会

2 所管事項の調査

「商店街を中心とした地域の活性化について」

参考人：平野屋商店街振興組合 専務理事 福原 習作 氏

3 閉会中の継続審査及び調査

4 今後の委員会運営

5 そ の 他

6 閉 会

魅力ある地域づくりに関する特別委員会 出席要求理事者名簿

(令和7年12月府議会定例会)

【総務部】	
総務部理事 (自治振興課長事務取扱)	山 本 茂 樹

【健康福祉部】	
地域福祉推進課長	宮 村 匡 彦

【総合政策環境部】	
総合政策環境部副部長 (子育て社会推進監付理事兼務)	白 波 瀬 衛
地域政策室長	吉 田 宏 則
地域政策室企画参事 (北部担当)	古 田 良 明
地域政策室企画参事 (中部担当)	仲 村 貴 人
地域政策室企画参事 (南部担当)	池 松 達 人
大学政策課長	河 野 勉

【商工労働観光部】	
中小企業総合支援課長	田 村 弘 之
中小企業総合支援課参事 (商店街創生センター事務局長)	田 中 一 成
観光室長	西 田 剛

【農林水産部】	
農林水産部理事 (経営支援・担い手育成課長事務取扱)	小 塩 佳 市

【文化生活部】	
文化生活部副部長 (スポーツ・文教担当)	裕 伸 二

【公安委員会】	
交通規制課長	橋 本 昌 史

(計 14 名)

商店街を中心とした地域の活性化について

商店街創生センターの取り組み

令和7年12月

魅力ある地域づくりに関する特別委員会



商店街施策の方向性

商店街がコミュニティの中核を構成(京都府総合計画)

目指すべき姿

- 地域コミュニティの核として、多様な人が交流し、様々な主体の連携により地域課題を解決する商店街
- 地域商業の核として、商店街の強みを生かした新サービスや新分野への取組により、地域ブランドの価値を高め、商業機能の向上を目指す商店街

商店街創生センターについて

1. 開設:平成27年10月5日

2. 開設の趣旨

官民一体により、商店街が抱える課題の解決や活性化に向けて、よりきめ細かな支援を行うことで、自力では事業実施が困難な、厳しい環境下の商店街等に対する支援を強化する。

→補助金のみならずソフト面での支援の強化に加え、商店街ごとにオーダーメイドの支援を実施

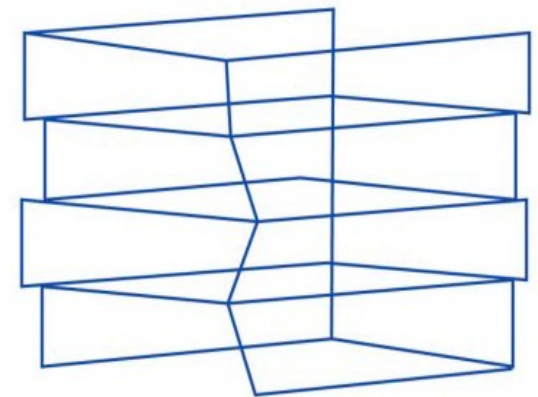
3. 体制

◆ センター長:上田 照雄
京都府商店街振興組合連合会 理事長
京都商店連盟 会長
京都三条会商店街振興組合 会長

◆ 事務局:事務局長 (中小企業総合支援課参事)
事務局員7名

4. 所在地

京都経済センター4階 410号室



商店街創生センター
-KYOTO-

商店街創生センターの主な事業

商店街の実情に応じたオーダーメイド型伴走支援



- 1 商店街の実情に応じた支援
- 2 商店街支援組織・人材によるサポート
- 3 商店街の人材育成と交流
- 4 商店街と若手起業家・大学生等の交流機会の創出
- 5 商店街情報の一元化・発信強化

商店街創生センターの主な事業

1. 商店街の実情に応じた支援

<支援内容>

- ① 商店街創生センター職員が商店街を訪問 …… 顔合わせ
- ② 何度か訪問し、商店街の現状や課題を聞き取り …… 関係の構築
- ③ 活性化に取り組んでみようとする商店街に対して
アイデア出し・コンセプトづくりなどを提案 …… 一歩を踏み出す
- ④ 国・府の補助制度などを活用しての支援 など …… 自立への支援
(新しい商店街づくり総合支援事業費補助金など)



商店街への訪問やヒアリング・提案を実施
センター設立以来、4,000回以上訪問

商店街創生センターの主な事業

2. 商店街支援組織・人材によるサポート

● 専門家等の派遣による支援

商店街のニーズや課題に応じて、各種分野の専門家を派遣し、アドバイス等を行う。

<派遣先例>

堀川商店街協同組合

北野商店街振興組合

今熊野商店街振興組合



商店街内外の連携を深めるため商店街組織内に企画広報部を立ち上げ



子育て世代による商店街まち歩きミーティングの実施



コミュニティスペースを活用した子ども服等の交換会の実施

商店街創生センターの主な事業

3. 商店街の人材育成と交流

●商店街これかラボ「商店街のこれからを共につくろう」

商店街に興味を持つ学生や事業者、商店街関係者などが、学び合い、自らできるアクションを実践していく場。月1回の講座を5か月間実施。今年度は伏見区や舞鶴市内で実施するなど現場訪問を充実。



商店街をもっと面白く

商店街 これかラボ 2025

2025年8月~12月
各月第3木曜日

定員	20名	参加費	無料
第1・4・5回	京都経済センター (18:30)	第2回	京都市内【中書島】 (14:00)
第3回	舞鶴市内 (14:00~18:00)		

※原則、全5回を通して参加できる方。
※受講にあたっては選考があります。

商店街創生センターの主な事業

4. 商店街と若手起業家・大学生等の交流機会の創出

●商店街ジャンクション

「商店街と一緒に、アイデアをカタチにしよう。ー子どもが笑顔のまちは誰もが笑顔のまちー」をテーマに、商店街と大学生や事業者等をマッチング。「商店街でやりたいこと」を話し合い、一緒にチャレンジ。今年度は、コミュニティスペースでの絵本交換会などを準備中



●子育て×商店街フォーラム

「みんなで考える地域のかたち。こんなのあったらいいな♪理想の商店街とは？」子育て世代と商店街が自由な発想で「理想の商店街」を考え、アイデアの実現を目指す場。

※ R6年度は50名が参加。次回はR 8 年1月18日（日）開催予定



●商店街創生フォーラム

商店街活性化の成功事例の紹介や、商店街どうしの連携、商店街と若手起業家・大学生等との交流の場。

商店街と外部人材とのネットワークづくりを支援。

※R 6 年度は120名が参加。次回はR8年 2 月に開催予定



商店街創生センターの主な事業

5. 商店街情報の一元化・発信強化

- 商店街創生センターのホームページ、フェイスブックで発信
センター職員が商店街に訪問・取材等を行い、商店街のイベント情報や魅力を発信
(ホームページ年間アクセス数 R6 84,827件)

地域と共に「がんばる商店街」を伴走支援！商店街創生センターにまうはるご相談ください。



商店街創生センター



ニュース・イベント

魅力紹介

商店街創生センターについて

支援メニュー

地域と共に「がんばる商店街」を伴走支援！



商店街創生センターの主な事業

●補助金事業による支援

新しい商店街づくり総合支援事業(令和7年度当初予算:4,023万円)

	地域課題解決コミュニティ 活性化事業	商店街に関わる人材育成交流促進事業
対象 事業	地域課題解決、デジタル化推進、 空き店舗活用	SNS講習会、データを活用したマーケティング、 ビジョンづくり、組織づくりなど
補助率	2/3以内	定額 (10/10)
補助上限	①単独型：200万円 ②子育て応援タイプ 団体向け：250万円 個店向け： 20万円 ③連携型(空き店舗活用):500万円	20万円

地域商業活性化事業(令和6年度2月補正予算:2億8,000万円)

	地域消費活性化事業	商店街買い物環境整備事業
補助率	プレミアム付き商品券の発行経費の 2/3以内 (3/4以内)	防犯カメラ以外 ⇒補助率 1 / 3 かつ市町村補助額の範囲内 防犯カメラ ⇒補助率 1 / 2 かつ市町村補助額1.5倍の範囲内
補助 上限	1,000万円 (1,500万円以内) ※カッコ内はLPガス利用者への 購入限度額引上げを行う場合	200万円

商店街・地域活性化に向けた取り組み事例

今熊野商店街（東山区）

コミュニティスペース（みらくまの）で、子育て世代である若手経営者（これかラボ2期生）が中心となって、

- ・絵本の読み聞かせ会、お茶の体験会
- ・0円マーケット（洋服等の無料交換）等を実施



深草商店街（伏見区）

空き店舗を補助金で改修「タカギヒロバ」2024.8～
これかラボ3期生が中心となって、子育て支援団体等と連携し、子どもが運営する縁日、高齢者サロン、勉強支援等を実施

毎月第2土曜日に「土曜朝市」を実施。例年11月には「100円商店街」を実施し、今年は約8千人の人出で賑わった。



堀川商店街（上京区）

商店街と外部との連携を推進するため企画広報部を立ち上げ、「アートと交流」をテーマに商店街活動を実施。これかラボ1期生がオープンしたシェア型図書館などで多世代交流が進む。春と秋に開催する「堀川まつり」には、多くの来街者で賑わう。



合同会社浜風×三条商店街 「cafe GASS」

これかラボ1期生が仲間と合同会社を立上げ、地域住民等とどのような店舗があればいいかについて、ワークショップを開催し、空きビルにコミュニティカフェをオープン2023.4～



商店街・地域活性化に向けた取り組み事例

龍安寺参道商店街（右京区）

空き店舗を活用した「とんぼの家」
大学生ボランティアや子育て支援NPO等と連携しながら、ミニマルシェ、チャレンジショップ、チャレンジキッチン、子ども食堂、カルチャー講座などを実施。

「パン屋」が欲しいとの住民アンケートを受け、地元の若者がセレクトパン屋を運営中。

商店街内店舗（イベントスペース）において、地域包括支援センターと連携し高齢者情報の共有、高齢者の集いの場などを実施。



東寺道親交会（南区）

これかラボ2期生が新たに商店街を立ち上げ。
定期的な清掃活動の実施、大学生等と連携し、商店会や公園を利用した「東寺道マルシェ」や移動式小型屋台を利用した賑わい創出等を実施。



御園橋801商店街（北区）

商店街が運営するコミュニティスペースにおいて、子ども食堂や高齢者サロンを実施。

秋に開催する御園橋801フェスティバルは約8千人の来街者で賑わう。クリスマスコンサートでは、子どもたちへのプレゼントに加え、子どもたちからお年寄りへプレゼントを贈り交流を深めている。



京都向日市激辛商店街（向日市）

大阪・関西万博の開催に伴い、外国人観光客の誘致を行うため、SNS活用やメニュー開発、マナー等の勉強会や「万国KARA-1 GP」を開催。



商店街・地域活性化に向けた取り組み事例

JR城陽駅前商店街会（城陽市）

こどもまつり・七夕祭りを開催。商店街会員店舗の売り出しに加え、キッチンカーの出店や隣接する商店街もブースを出店し、地域の子どもで賑わいを見せている。地元の高校生がボランティア参加。卒業後もボランティア参加のために帰京。商店街がコミュニティの場となっている。



宇治橋通り商店街（宇治市）

地域団体や京都文教大学等も協力し、クラフトビール夜市や、わんさかフェスタ等を開催。
ロゲイニング※の実施やデジタルマップの作成等により、エリアを回遊する仕組みづくりに取り組んでいる。

※地図を読みながら制限時間内にチェックポイントをめぐり得点を競う。
地域の名所や商店街をチェックポイントに設定。



長岡中央商店街（長岡京市）

「わいわいまつり」を夏・秋・冬に実施。
市教育委員会とも連携し市内の小学校等にチラシを配布。
約3千人が来訪。商店街のブースに加え、キッチンカーの出店や、近隣の商店街も連携しブース出店するなど、子どもや家族連れで賑わいを見せている。



男山中央センター商店会（八幡市）

これかラボ2期生（現副会長）が、商店街と地域を一体的に盛り上げるため「おとこやまもりあげ隊」を立ち上げ。
大学生との連携にも積極的に取り組み、子ども店長やハロウィン等を実施。
令和6年10月には、大学生や地元の高校生、「おとこやまもりあげ隊」と一緒に「京都版ミニ・ミュンヘン」を実施。



(案)

令和7年 月 日

京都府議会議長 荒 卷 隆 三 殿

魅力ある地域づくりに関する特別委員長 田 島 祥 充

閉会中の継続審査及び調査要求書

本委員会に付されている事件は、下記の理由により、引き続き審査及び調査を要するものと認めるから、京都府議会会議規則第75条の規定により申し上げます。

記

1 件 名

大学の知と学生の力を取り入れた地域活性化、観光やスポーツを通じた様々な交流機会の拡大など、地域のポテンシャルの向上を目指した魅力ある地域づくりに関する施策について

2 理 由

審査及び調査が終了しないため

行催事等に係る委員会調査の結果概要について

教育委員会

行催事等名	主催者名 (招待者名)	会 場 (市区町村名)	年 月 日
第48回京都府民総合体育大会 オープニングフェスティバル オープニングセレモニー（総合開会式）	京都府、京都府教育委員会、 公益財団法人京都府スポーツ協会、 京都市、京都市教育委員会、 京都府市長会、京都府町村会、 京都府市町村教育委員会連合会	京都府立山城総合運動公園 (宇治市)	令和7年10月26日（日）